

新たな時代を切り拓くための学力の育成に向けて

■社会の大きな変化



グローバル化の進展

環境問題をはじめとした世界規模で起こる様々な問題を解決するため、これまで以上に多様な人々と関わる中で、文化や国籍、価値観等の違いを超えて他者を理解し、他者と協働する力が必要になります。



急速な技術革新

科学技術の発展により、現在人間が担っている仕事を人工知能が代替するなど環境が劇的に変化していく中で、それらを使いこなす力に加えて、人間ならではの感性や想像力を発揮し、自らの可能性を最大化する力が必要になります。

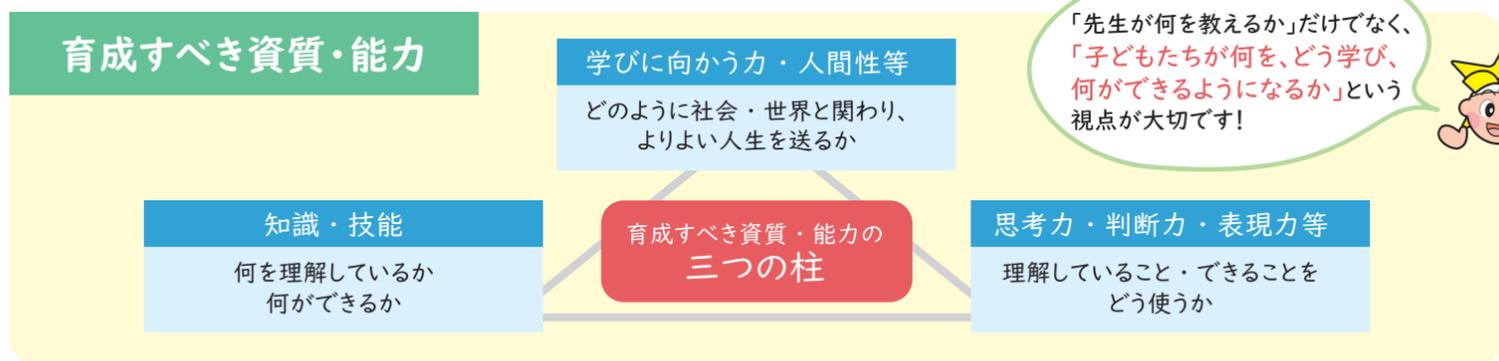


少子化・高齢化

コミュニティが脆弱化し、人と人とのつながりが希薄化していく中で、地域の担い手として、課題を発見・解決したり、社会の成長につながる新たな価値を創造したりする力が必要になります。

子どもたちが予測困難な時代を生き抜くために必要な力が変わり、それに伴って教育も変わっていきます。

■学習指導要領改訂の要点



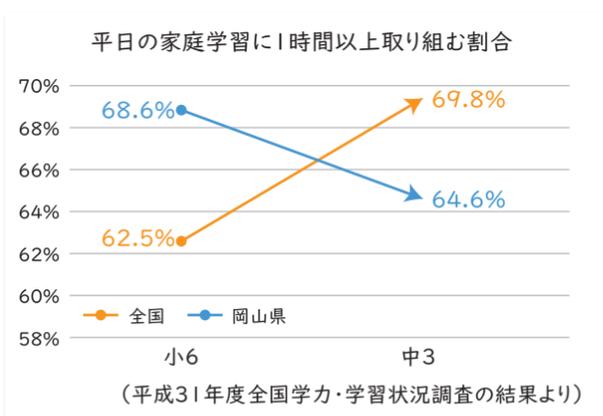
トピックス

- 「主体的・対話的で深い学び」
- 小学校高学年における外国語(英語)の教科化
- プログラミング教育の導入
- 小・中学校における道徳の教科化

家庭で学習習慣を身に付けさせることが大切です

活学力を育成するためにも、その基盤となる基礎学力を日々の授業や家庭学習の中で身に付けさせることが必要です。しかし、スマートフォン等の大きく変化しており、そのための学習時間を十分に確保できていない現状があります。

家庭学習の現状



1時間以上勉強する子どもの割合について、中学3年生が小学6年生のとき(3年前)と比べると、全国的にはその割合が増えているのに、岡山県では減っています。

家庭学習のルールを作しましょう

家庭学習の3つの約束 	支える視点 ① 始める時間を決める ② 学習場所を固定する ③ 学習量を目安を決める(「時間」と「ページ数」) 家庭学習の間は、テレビを消したり音を小さくしたりするなど、学習に集中しやすい環境づくりに、家族のできる範囲で協力しましょう。
学習場所の整理も大切 	① 学習しやすいように整理をする ② 必要な物(文房具、辞書など)を用意する ③ 次の日の準備をし、片付ける
家庭学習の順番はこれ 	支える視点 ① 宿題 ② 自主学習1(授業の復習や予習) ③ 自主学習2(学習テーマは自由) 学習したノートを見るなど、状況を把握し、その頑張りをほめて、継続力を支えましょう。家庭学習の習慣は最初が肝心です。小学校低学年は宿題ができるようになるまで関わりましょう。

(「子どもが伸びる家庭学習」より)

※「子どもが伸びる家庭学習」は県教育庁義務教育課のHPからダウンロードできます。